

令和4年度どさん子元気アップチャレンジ実施要綱

(令和4年6月30日 学校教育局健康・体育課長決定)

1 ねらい

子どもたちが運動に親しみ、楽しく運動を行う態度の育成や体力の向上を図るため、学校、家庭、地域など、オール北海道で運動機会の創出を図るとともに、体力づくりを進める機運を高める。

2 対象

道内の公立小学校及び中学校、義務教育学校（前・後期課程）、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部、中学部）に在籍する児童生徒

3 実施内容

(1) 短縄跳び全道大会

ア 目的

児童生徒が手軽な運動の実践を通して、自己の目標に応じた体力の向上を図るとともに、仲間と協力し、運動に親しみながら楽しく運動を行う態度を身に付ける。

イ 対象

道内の公立小学校及び中学校、義務教育学校（前・後期課程）、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部、中学部）に在籍する児童生徒とする。ただし、【なわとびアップ】については、道内の公立小学校及び義務教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部）に在籍する児童のみを対象とする。

ウ 実施内容等

【なわとびトライ】

(ア) 実施内容

- ・ **90秒間**に、1回跳び（**両足跳び1回旋1跳躍**）に成功した回数を競う。
- ・ 学校での取組における記録を競う「学校部門」と家庭や地域等での取組における記録を競う「家庭・地域部門」の2部門を設定する。
- ・ 「学校部門」及び「家庭・地域部門」とともに、各2期に分けて実施する。

【なわとびチャレンジ】

(ア) 実施内容

- ・ **60秒間**に、2重跳び（**両足跳び2回旋1跳躍**）に成功した回数を競う。
- ・ 学校での取組における記録を競う「学校部門」と家庭や地域等での取組における記録を競う「家庭・地域部門」の2部門を設定する。
- ・ 「学校部門」及び「家庭・地域部門」とともに、各2期に分けて実施する。

【なわとびスピード】

(ア) 実施内容

- ・ **30秒間**に、かけ足跳び（**片足交互跳び1回旋片足1跳躍**）に成功した回数を競う。
- ・ 学校での取組における記録を競う「学校部門」と家庭や地域等での取組における記録を競う「家庭・地域部門」の2部門を設定する。
- ・ 「学校部門」及び「家庭・地域部門」とともに、各2期に分けて実施する。

【なわとびアップ】

(ア) 実施内容

各学校においてステージ1（6月下旬～9月下旬）で取り組んだ短縄跳びの最高記録とステージ2（10月中旬～1月下旬）で取り組んだ短縄跳びの最高記録の差を「アップ記録」として競う。

エ 実施期間

- (ア) 【なわとびトライ】、【なわとびチャレンジ】、【なわとびアップ】
《学校部門》

- ・前期 令和4年6月30日(木)～令和4年9月30日(金)
- ・後期 令和4年10月17日(月)～令和5年1月31日(火)
- 《家庭・地域部門》
- ・1期 令和4年7月15日(金)～令和4年8月31日(水)
- ・2期 令和4年12月16日(金)～令和5年1月31日(火)

(イ) 【なわとびアップ】

- ・ステージ1 令和4年6月30日(木)～令和4年9月30日(金)
- ・ステージ2 令和4年10月17日(月)～令和5年1月31日(火)

オ その他

- ・申告された記録は、北海道教育庁学校教育局健康・体育課（以下、健康・体育課という）の Web ページで公表するとともに、各種目の上位者に記録証を授与する。
- ・詳細は、別紙1「令和4年度どさん子元気アップチャレンジ『短縄跳び全道大会』実施要項」を参照。

(2) 長縄跳び全道大会

ア 目的

児童生徒が手軽な運動の実践を通して、仲間と協力し、運動に親しみながら体力の向上を図るとともに、仲間と楽しく運動を行う態度を身に付ける。

イ 対象

道内の公立小学校及び中学校、義務教育学校（前・後期課程）、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部、中学部）に在籍する児童生徒

ウ 実施内容

- ・60秒間の記録を競う。
- ・記録は、跳んだ人数と跳んだ回数の積（単位はポイント）とする。
例12人で100回跳んだ場合：1200ポイント、5人で200回跳んだ場合：1000ポイント
- ・跳ぶ人数は5人以上とし、長縄の回し役は児童生徒のほか、教員も可能とする。
- ・学級や学年、異学年集団等による取組における記録を競う「学校部門」と地域や少年団、部活動等による取組における記録を競う「地域・部活動等部門」の2部門を設定する。

エ 実施期間

令和4年6月30日(木)～令和5年1月31日(火)

オ その他

- ・申告された記録は、北海道教育庁学校教育局健康・体育課（以下、健康・体育課という）の Web ページで公表するとともに上位チームに記録証を授与する。
- ・詳細は、別紙2「令和4年度どさん子元気アップチャレンジ『長縄跳び全道大会』実施要項」を参照。

(3) なわとびスキルマスター認定

ア 目的

児童生徒が自己や仲間の体力や技能に応じて選択した運動の実践を通して、仲間と協力し、運動に親しみながら、楽しく運動を行ったり、体力の向上を図ったりする態度を身に付ける。

イ 対象

道内の公立小学校及び中学校、義務教育学校（前・後期課程）、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部、中学部）に在籍する児童生徒

ウ 実施内容等

- ・なわとびスキル上級編は、「サイドクロス」を5連続以上の跳躍成功、かつ、「E. K.」を3連続以上の跳躍成功で認定する。
- ・なわとびスキルグループ編は、「トラベラー」を5人以上の隊列を1往復以上成功で認定する。
- ・なわとびスキル上級編（「サイドクロス」及び「E. K.」）、または、グループ編（「トラベラー」）を行っている動画を提出する。

エ 実施期間

令和4年6月30日(木)～令和4年12月23日(金)

オ その他

- ・認定者等へは認定証を授与する。
- ・詳細は、別紙3「令和4年度どさん子元気アップチャレンジ『なわとびスキルマスター認定』実施要項」を参照。

(4) 地域で元気アップ！

ア 目的

オール北海道で運動機会の創出を図るとともに、体力づくりを進める機運を高める本事業のねらいを鑑み、各地域で実施している運動やスポーツの取組を広く紹介する他、必要に応じてプロスポーツクラブや企業等と連携を図った取組を推進する。

イ 実施内容

- ・健康・体育課は、「どさん子体力アップ強調月間」の賛同団体等による体力向上の取組をまとめ、健康・体育課のWebページに掲載し、広く紹介する。
- ・健康・体育課は、賛同団体等と連携した取組を検討し、適宜実施する。
- ・健康・体育課は、賛同団体等と連携を図って実施した取組の概要を北海道教育庁学校教育局健康・体育課のWebページに掲載する。

4 その他

この要綱で定めるもののほか、事業の実施に必要な事項については、健康・体育課長が別に定める。

附 則（令和4年6月30日 健康・体育課長決定）

この要綱は決定の日から施行する。